

学長及び教員の個人調書（記入例）

様式第4号（その1）

記入例 1 / 4

| 履 歴 書 | | | |
|--|---|-------|-----|
| フリガナ 氏 名 | サトウ タロウ 佐 藤 太 郎 〔外国人の場合「姓・名・ミドルネーム」の順に記入〕 | (男)・女 | 写 真 |
| 生年月日 (年齢) | 昭和〇〇年〇〇月〇〇日生 (満〇〇才) 〔2019年9月20日現在の満年齢〕 | | |
| 現住所 | 〒603-〇〇〇〇 京都市北区上賀茂〇〇町1-12 | | |
| | TEL (075) - (000) - (000) 携帯電話 (090) - (0000) - (0000) E-mail () | | |
| 学 歴 | | | |
| 年 月 | 事 項 | | |
| 昭和〇〇年3月 | 〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業 | | |
| 昭和〇〇年4月 | 〇〇大学大学院〇〇研究科修士課程〇〇学専攻入学 | | |
| 昭和〇〇年3月 | 同 修了 | | |
| 昭和〇〇年4月 | 〇〇大学大学院〇〇研究科博士課程〇〇学専攻進学 | | |
| 昭和〇〇年3月 | 同 修了 (又は) 同 単位取得満期退学 | | |
| 昭和〇〇年3月 | 〇〇博士 (〇〇大学) (又は) 博士 (〇〇学) (〇〇大学) | | |
| 〔旧制高校, 旧専門学校の学歴は記入して下さい。〕 〔称号等は記入して下さい。〕 〔学位番号は記入不要です。〕 | | | |
| 職 歴 | | | |
| 年 月 | 事 項 | | |
| 昭和〇〇年4月 | 〇〇株式会社入社 | | |
| 昭和〇〇年3月 | 同 退職 | | |
| 昭和〇〇年4月 | 〇〇大学〇〇学部 (〇〇研究所) 助手 | | |
| 昭和〇〇年4月 | 〇〇大学〇〇学部非常勤講師 | | |
| 昭和〇〇年4月 | 〇〇大学〇〇学部講師 | | |
| 昭和〇〇年4月 | 〇〇大学〇〇学部助教授 | | |
| 平成〇〇年1月 | 文部科学省教員組織審査において, 京都産業大学〇〇学部〇〇学科教授 (〇〇学, 〇〇論) として認定 | | |
| 平成〇〇年4月 | 〇〇大学〇〇学部教授 (〇〇〇〇担当) (現在に至る) | | |
| 平成〇〇年1月 | 文部科学省教員組織審査において, …DⓄ教授…認定 | | |
| 平成〇〇年4月 | 〇〇大学大学院〇〇研究科DⓄ教授 (〇〇〇特別研究担当) (現在に至る) | | |
| 平成〇〇年4月 | 〇〇大学学生部長 (平成6年3月まで) | | |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">↑</div> <div style="text-align: center;">↑</div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">〔現在の主要担当科目を記入して下さい。〕</div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">〔現職には必ず付記して下さい。〕</div> | | | |

学会及び社会における活動等

| 年 月 | 事 項 |
|---|--|
| 昭和〇〇年4月 昭和〇〇年4月 昭和〇〇年4月 昭和〇〇年4月 昭和〇〇年4月 | 〇〇学会会員 日本〇〇学会会員 〇〇学会幹事（平成〇年3月まで） 〇〇学会〇〇委員 〇〇学会会員 [加入年月順に記入して下さい。] [現在加入のすべての学会の加入年月，学会名（フルネーム）を記入して下さい。] |

賞 罰

| 年 月 | |
|---------|---|
| 平成〇〇年〇月 | 〇〇学会〇〇賞（論文名 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇） [又は「なし」] |

職 務 の 状 況

| 勤 務 先 | 職 名 | 学 部 ， 学 科 等 （所属部局）の名称 | 担 当 授 業 科 目 名 | 毎 週 担 当 授 業 時 間 数 | | | | 備 考 |
|--------|-----|--------------------------|---------------|-------------------|-----|-----|---|-------------|
| | | | | 専 任 | 兼 担 | 兼 任 | 計 | |
| 京都産業大学 | 教 授 | 工学部生物工学科 | 〇〇〇〇概論 | 2 | | | 2 | ※複数でご担当の科目 |
| 〃 | 〃 | 〃 | 〇〇〇〇〇〇実験 | 2 | | | 2 | についての時間数の記 |
| 〃 | 〃 | 〃 | 〇〇〇〇〇〇 | 2 | | | 2 | 入方法は、「個人調書等 |
| 〃 | 〃 | 工学研究科〇〇専攻 | 〇〇〇〇〇〇特論 | 4 | | | 4 | 記載要領の（別紙）」を |
| 〃 | 〃 | 理学部物理学科 | 〇〇〇〇〇〇 | | 2 | | 2 | ご参照下さい。 |
| 〇〇工業大学 | 講 師 | 理工学部物理学科 | 〇〇〇〇〇〇 | | | 2 | 2 | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

上記のとおり相違ありません。

年 月 日

氏 名 佐 藤 太 郎 印

| 教 育 研 究 業 績 書 | | |
|---|-------|-----|
| 年 月 日 | | |
| 氏 名 佐 藤 太 郎 (印) | | |
| 教育上の能力に関する事項 | 年 月 日 | 概 要 |
| 1. 教育方法の実践例 ・優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法、学生の授業外における学習促進のための取り組み、講義内容のweb上での公開等 | | |
| 2. 作成した教科書、教材 ・作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等の概要(後の「著書、学術論文」との重複も可。その場合、「(再掲)」と表示) | | |
| 3. 当該教員の教育上の能力に関する大学の評価 ・各大学での自己点検・評価の一環として、教育面で高い評価を受けた事実(その事由と評価内容) ・採用決定の際等における教育上の能力に関する評価 ・学生による授業評価、教員同士の相互評価等をまとめたもの ・上記以外で、学長、学部長、諸機関等が行った評価(客観性を持ったものについて記載)等 | | |
| 4. その他 ・大学教育改善に関する団体等での活動の概要 ・教育実績に対する受賞歴等 | | |
| 職務上の実績に関する事項 | 年 月 日 | 概 要 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○企業、官公庁等の研究者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・開発した新製品・製法、作物等の新品種などの概要 ・取得した特許等の概要 ・大学との共同研究による研究実績がある場合、その概要、成果、当該研究者の役割 ○その他、企業・団体等関係者 <ul style="list-style-type: none"> ・国際援助・開発、先端技術、国際金融等高度に専門的な実務に従事した実績 ○情報技術者関係の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・コンピューターに係る職務歴(職務上のコンピューター活用法、ソフト・システム開発歴) ○マスコミ関係者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・執筆した記事の概要 ・作成した番組の概要 ○法曹関係者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・関係した訴訟等での活動や判決の概要 ○医師や看護師等医療技術者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・症例研究会での発表等の活動 ○福祉その他社会活動の関係者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・参加した活動や団体の名称、活動内容・期間、本人の当該活動における地位 ○スポーツ等実技関係者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・指導者としての経歴・実績・資格 ○芸術関係者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・作品の概要 ○博物館、美術館等関係者の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・担当した展覧会の概要 ・執筆・監修した展覧会図録の概要 ○その他全般を通じて <ul style="list-style-type: none"> ・大学から受け入れた実習生に対する指導歴(看護・福祉実習、企業実習等) ・企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義等の概要 | | |

教 育 研 究 業 績 書

年 月 日

氏 名 佐 藤 太 郎 (印)

| 著書, 学術論文等の名称 | 単著, 共著の別 | 発行 又は 発表の年月 | 発行所, 発表雑誌等 又は発表学会等の名称 | 概 要 |
|---|-------------|----------------|--|--|
| (著書) 1 ○○○○○○○○ ○○○○ | 共 著 | 平成 5年 8月 | 学術図書出版 ↑ [同じ発行所等でも 省略しない。] ↓ オーム社 | [概要は少なくとも 200 字程度で簡潔にお願い します。] ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○。 ○○○○○○○○○○○○○○○○○。 (本人は第2章を担当した。PP. 212-228) (编者○○○, ○○○○, 佐藤太郎, ○○○) ↑ [共著の場合は, 担当部分及び頁数を明記し, 又, 本人の氏名を含み著作書全員の氏名を当該著書 に記載された順に記入して下さい。] ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○。 |
| 2 ○○○○○○○○ ○○○○ ↓ [以下, 年代順に記入] | 単 著 | 平成 7年 11月 | オーム社 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○。 |
| (学術論文) 1 ○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○ ○○○○○○ [欧文はタイプ, ワー プロ又は活字体手書き] | 単 著 | 平成 ○年 7月 | 日本○○学会誌 第○○巻, 第○号 Vol.○○, No.○○ PP. 53-60 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ 和文は第○巻, 第○○号, PP. ○○-○○ 欧文は Vol.○○, No.○○, PP. ○○-○○ [ページ数を記入して下さい。] ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○。 |
| ↓ 2 The ○○○○○○ ○○○ of an ○○○○ ○○○○○○○○ | 共 著 | 平成 ○年 3月 | Journal of ○○○○ ○○○ Vol. 89, No.5 PP. 134-142 | [欧文は必ず和訳] ○○方式○○に有効な○○ ○○○○比較する○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○実験的に○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (本人は○○部分を担当した。PP. ○-○) (○○○○, 佐藤太郎) |
| ↓ 3 ○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○ (学位論文) ↑ [学位論文の場合記入する。] [学位論文の内容が他の論文を単にまとめた場合 は番号をカウントしない。又, 学位論文も年代順 に繰り入れて記入し, 特別に最初又は最後にしな いで下さい。] | 単 著 | 平成 ○年 3月 | ○○大学 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (学術論文番号○～○までの内容をまとめたも のである。) |
| (その他) 1 [上記の例に準じて記入して下さい。] | | | | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○。 |

以 上
著 書 5 編
学術論文 35 編
そ の 他 30 編

← [これまでの教育研究業績のすべてを加算の上ご記入願います。また, 該当のない場合は0を
記入して下さい。]